

訓練支援計画書（シラバス）

科名：電子情報技術科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間／週
教育訓練課程	専門課程	ものづくり製作実習Ⅱ	選択	2期	2	集中授業
教科の区分	系基礎実技					
教科の科目	電気電子工学実験					
担当教員		曜日・時限	教室・実習場		備考	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
部品の取り扱い、データ処理、加工、製作物の評価は電子のものづくりにおいて必要不可欠である。						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
ものづくりの一連を体験し、ものづくりの楽しさ、大変さ、できた時の喜びを味わう。ものづくりへの興味をもたせる	①	全体説明				
	②	はんだ付け				
	③	基板はんだ付け				
	④	シャーシ				
	⑤	全体組立て				
	⑥	動作チェック・評価				
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	部品の取り扱い方および工具の取り扱い方
授業科目についての助言	各自製作を行うため、説明をよく聞き段取りよく作業を進めていってください。 電子回路製作に必要な基本的な技術および工具類の使用方法を学びます。
教科書および参考書	教科書：自作テキスト
授業科目の発展性	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ものづくり製作実習Ⅰ</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 2px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">アナログ回路実習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">デジタル回路実習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ものづくり製作実習Ⅱ</div> </div> </div>

評価の割合								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度				50		50	100
	技能・技術の習得度				20			
	コミュニケーション能力				20			
	プレゼンテーション能力				10			
	論理的な思考力、推論能力						10	
	取り組む姿勢・意欲						20	
	主体性・協調性						20	

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
1日	製作物の全体説明 ・部品の使い方 ・工具類の使い方	実習	製作物の全体像と行うべき内容を確認し作業に取り掛かれるように復習しておいて下さい。
2日	はんだ付け	実習	部品の取り扱い方や配置、配線を確認し作業に取り掛かれるように復習しておいて下さい。
3日	基板はんだ付け	実習	配線・組立てなどに間違いがないか確認しておいてください。
4日	全体組立て	実習	配線・組立てなどに間違いがないか確認しておいてください。
5日	動作チェック・評価	実習	動作確認を行い、正常に動作することを確認しておいてください。